

H29.12

「いのちの応援舎」総理大臣表彰

高松市のNPO法人「いのちの応援舎」(山本隆夫理事長)が2017年度の内閣府の「子供と家族・若者応援団表彰」で内閣総理大臣表彰に輝いた。

同表彰は子ども・若者の育成支援や子育て支援の活動に功績のあった団体・個人を顕彰するため、10年度に創設。関係府省や各都道府県などから推薦のあった候補者の中から、選考委員会の審査を踏まえ決定している。

子供・若者育成支援部門と子育て・家族支援部門の2部門で、それぞれ内閣総理大臣表彰と内閣府特命担当大臣表彰がある。今回は全国で計20団体が受賞した。子育て・家族支援部門で内閣総

子育て・家族支援部門



いのちの応援舎での子育て世代と高齢者との交流会(資料)

理大臣表彰に選ばれた、いのちの応援舎は05年に設立。助産院や高齢者のデイサービス、小規模保育所などの機能を備えた福祉施設として、妊娠期から高齢者まで幅広い視点での取り組みや、助産師が中高生などに命の大切さを伝える「いのちの出前講座」などの活動が評価された。

山本理事長は「大勢の人の支援があつてここまで活動を続けてこられた。長年の取り組みが認められ、本当にうれしい。これからも継続した活動を行っていききたい」と喜びを語った。

このほか、高松市の「森のようちえん お山歩隊」(代表者・湊千恵さん)が、「子供と家族・若者応援団活動事例紹介事業(チャイルド・ユースサポート章)」に選ばれた。

